

「名音小学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

大和村立名音小学校

2 学年・人数

1～4年, 6年 (計14人)

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

2020 (令和2) 年7月11日 (土) 名音小学校体育館

2020 (令和2) 年9月11日 (土) 名音小学校体育館

(2) 発表の日時・場所

2020 (令和2) 年9月20日 (日) 運動会 (名音小学校校庭)

2020 (令和2) 年11月1日 (日) 学習発表会 (名音小学校体育館)

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事について

(1) 名称

八月踊り (はちがつおどり)

(2) 由来

旧暦の八月に各集落で, 五穀豊穰や家内安全のために踊られている。集落ごとに歌詞や節回しが微妙に違う。今では, 豊年祭や九月九日等で踊られることが多い。

(3) 構成等

名音に伝わる伝統芸能で, ちぢん (手持ちの太鼓) に合わせて男女が掛け合いで唄を唄いながら輪になって踊る。相手が唄っているときには指笛で盛り上げたり, 合いの手を入れたり, みんなでその唄を盛り上げていく。「あらしやげ」というどんどん唄のスピードをあげていく遊びの要素もある。

5 保存会や地域との連携

名音集落では, 八月唄を唄える方たちの高齢化や若い世代が八月唄を唄えないという現状があった。そのようなことを受けて, 八月踊りを絶やしてはいけないとの思いから青壮年団が3年前に八月踊り保存会を立ち上げた。それから毎週木曜日に名音生活館で八月踊りの練習をするようになり, 保護者も親子で参加したり, 職員も参加したりしている。また, 八月踊りを運動会の演目に入れ7月と9月には保存会や敬老会の方々をお招きし, 練習会を実施している。今年度は地区指定の郷土教育の公開を控えているため, 名音小学校の総合的な学習の時間で取り組んでいる「名音の音を記録し, 表現する。」に合わせて学習発表会でも八月踊りの演目を設け, 地域の方々に披露している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

毎日のそうじ時間に八月踊り唄を全校放送で流し, 唄に慣れさせた。音楽の授業にも八月踊りを取り入れ, 歌詞を覚えられるように練習をした。運動会前には, 朝の活動時間も練習をした。学習発表会にも八月踊りの演目を設け, 子供たちだけでちぢんを叩きながら, 唄って踊れるように毎日練習をした。

7 取組の様子



【八月踊りの練習の様子】



【運動会・学習発表会での八月踊りの様子】

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

<参加児童>

- 唄も踊りもできるようになってうれしかった。

<保護者・保存会>

- ちぢんや唄のリズムをとれてさすがです。
- 八月踊りを唄って踊って、たたけて、かけあいができて子供たちが出来るようになることは究極のテーマ。名音っこたちすばらしい。
- 子供だけで「唄って踊る」八月おどり。すばらしい。

<教員>

- 八月踊り保存会の方々や地域、保護者の方々が一緒に踊ってくださったので、子供も八月踊りが伝統として名音集落に伝わっていることを肌で感じる事ができたと思う。